

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社UMNファーマ 上場取引所 東
 コード番号 4585 URL <http://www.umnpharma.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)平野達義
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)橋本裕之 (TEL)045(263)9200
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	24	—	△3,035	—	△3,256	—	△2,773	—
24年12月期第3四半期	—	—	△1,614	—	△2,181	—	△1,609	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △3,323百万円(—%) 24年12月期第3四半期 △2,185百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△372.01	—
24年12月期第3四半期	△353.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	18,567	2,198	11.8
24年12月期	14,031	4,369	30.8

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 2,193百万円 24年12月期 4,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	1,748.0	△1,900	—	△2,100	—	△2,000	—	△277.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期3Q	7,651,700 株	24年12月期	7,205,200 株
25年12月期3Q	50 株	24年12月期	— 株
25年12月期3Q	7,454,152 株	24年12月期3Q	4,557,016 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年後半の政権交代以後、大胆な金融緩和策と新政権による経済政策への期待などから円安及び株価の上昇などが見られたものの、欧州の債務問題、米政府機関の一部閉鎖問題、世界経済の減速等の不安要素は解消されておらず、不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、「UMN-0502」（組換えインフルエンザHAワクチン（多価）、以下「UMN-0502」といいます。）、「UMN-0501」（組換えインフルエンザHAワクチン（H5N1））、世界保健機関（World Health Organization：WHO）がH5N1とともにパンデミック発生の可能性を指摘しているH9N2亜型に対する「UMN-0901」（組換えインフルエンザHAワクチン（H9N2））及びウイルス性胃腸炎の主な原因ウイルスであるノロウイルス及びロタウイルスに対する「UMN-2003」（組換えノロウイルスVLP＋組換えロタウイルスVP6混合ワクチン、以下「UMN-2003」といいます。）の開発に資源を重点的に配分し研究開発を進めてまいりました。

UMN-0502については、平成25年1月に技術導入元であるProtein Sciences Corporationの季節性組換えインフルエンザHAワクチン「Flublok®」が、米国食品医薬品局（Food and Drug Administration：FDA）より18歳から49歳までを対象として承認を取得いたしました。これにより、日東製薬株式会社との契約に基づき、マイルストーン・ペイメントを収受いたしました。また、アステラス製薬株式会社が、国内において実施した65歳以上の高齢被験者1,060例を対象とした第Ⅲ相臨床試験にて国内既承認孵化鶏卵ワクチンの免疫原性及び安全性と比較検討した結果、UMN-0502は国内既承認孵化鶏卵ワクチンに対し、免疫原性において非劣性基準を満たすとともに、安全性に大きな問題がないことが確認されました。さらに、東アジア地域への展開を積極的に進めた結果、平成25年9月には、台湾の國光生物科技股份有限公司とUMN-0502、UMN-0501及びUMN-0901の台湾及び中国における商業化に関する優先交渉権を供与する基本合意書を締結いたしました。UMN-2003については、横浜研究所にて組換えノロウイルスVLP＋組換えロタウイルスVP6の原薬製造プロセスを確立するに至りました。

生産施設については、当社連結子会社である株式会社UNIGENが、平成24年2月に経済産業省「平成23年度国内立地推進事業費補助金」一次公募対象事業に採択され、平成24年3月より岐阜県揖斐郡池田町にて建設を開始した岐阜工場が、平成25年5月に竣工いたしました。その後21,000L主培養槽を用いたUMN-0502原薬の試験製造を実施し、商業生産スケールでの一定量のHAタンパクの精製が可能であることを確認、承認申請に必要な各種データを取得することを目的としたPerformance Qualification（PQ）を開始いたしました。

また、新たな事業収益の柱とすべくアピ株式会社と推進しているバイオ医薬品受託製造（Biopharmaceutical Contract Manufacturing Organization）事業においては、平成25年3月に締結したアピ株式会社及び株式会社ヤクルト本社とのがん領域における複数の抗体バイオ後続品の研究開発及び商業化を共同で実施すること及びその基本事項について合意した意図確認書に基づき、平成25年6月に共同事業契約を締結いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、24,331千円（前年同期の売上高はなし）となりました。一方、提携先と各開発パイプラインの研究開発、岐阜工場への設備投資を積極的に進めたことにより、営業損失は、3,035,764千円（前年同期は1,614,018千円の営業損失）、経常損失は、3,256,136千円（前年同期は2,181,511千円の経常損失）、四半期純損失は、2,773,039千円（前年同期は1,609,944千円の四半期純損失）となりました。

なお、第2四半期連結累計期間において990千円の為替差益を営業外収益に計上していましたが、為替相場の変動により、第3四半期連結会計期間において816千円の為替差損が発生したため、当第3四半期連結累計期間において、173千円の為替差益のほか、保有していた投資有価証券を売却したことにより、投資有価証券売却益31,586千円を営業外収益に計上しております。また、当社子会社株式会社UNIGENの一部株式を売却したことにより、子会社株式売却益7,473千円を特別利益に計上しております。

また、当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績に関する記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,567,522千円と、前連結会計年度末に比べ4,535,877千円増加いたしました。これは主に、固定資産が増加したことによるものであります。

総負債は16,368,637千円と、前連結会計年度末に比べ6,706,286千円増加いたしました。これは主に、未払金及び借入金の増加によるものであります。

純資産は2,198,884千円と、主に四半期純損失を2,773,039千円計上したことにより、前連結会計年度末に比べ2,170,408千円減少いたしました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ382,480千円減少し、3,500,463千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失3,248,662千円、減価償却費756,321千円等により、2,926,219千円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2,981,014千円等により、2,819,953千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入2,650,000千円、長期借入れによる収入3,025,000千円のほか、株式の発行による収入650,333千円等により、5,363,691千円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ122,090千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,882,943	3,500,463
売掛金	108,225	—
仕掛品	—	11,145
原材料及び貯蔵品	33,979	244,792
前渡金	32,516	34,376
その他	132,595	823,429
流動資産合計	4,190,259	4,614,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,904	6,201,826
機械及び装置(純額)	81,904	6,397,111
工具、器具及び備品(純額)	118,434	194,416
リース資産(純額)	188,661	656,365
建設仮勘定	8,781,150	1,050
有形固定資産合計	9,595,055	13,450,770
無形固定資産	39,977	435,240
投資その他の資産	206,350	67,304
固定資産合計	9,841,384	13,953,315
資産合計	14,031,644	18,567,522
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	3,010,000
未払金	136,252	1,858,297
未払法人税等	22,629	14,031
資産除去債務	6,565	—
その他	50,752	128,146
流動負債合計	1,316,200	6,310,475
固定負債		
長期借入金	7,810,000	8,887,500
長期預り金	340,332	340,332
資産除去債務	13,591	167,324
その他	182,226	663,005
固定負債合計	8,346,150	10,058,161
負債合計	9,662,350	16,368,637

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,152,348	5,479,398
資本剰余金	4,821,348	5,148,398
利益剰余金	△5,662,131	△8,433,923
自己株式	—	△197
株主資本合計	4,311,564	2,193,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,075	—
その他の包括利益累計額合計	5,075	—
少数株主持分	52,652	5,209
純資産合計	4,369,293	2,198,884
負債純資産合計	14,031,644	18,567,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	—	24,331
売上原価	—	4,104
売上総利益	—	20,227
販売費及び一般管理費	1,614,018	3,055,992
営業損失(△)	△1,614,018	△3,035,764
営業外収益		
受取利息	277	803
助成金収入	36,190	—
為替差益	—	173
投資有価証券売却益	—	31,586
その他	3,525	2,026
営業外収益合計	39,992	34,590
営業外費用		
支払利息	48,077	162,266
株式交付費	—	7,266
支払手数料	552,526	85,411
その他	6,881	17
営業外費用合計	607,485	254,962
経常損失(△)	△2,181,511	△3,256,136
特別利益		
子会社株式売却益	—	7,473
特別利益合計	—	7,473
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,181,511	△3,248,662
法人税、住民税及び事業税	4,350	16,949
法人税等調整額	△523	52,396
法人税等合計	3,827	69,345
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,185,338	△3,318,008
少数株主損失(△)	△575,394	△544,969
四半期純損失(△)	△1,609,944	△2,773,039

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,185,338	△3,318,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△232	△5,075
その他の包括利益合計	△232	△5,075
四半期包括利益	△2,185,571	△3,323,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,610,177	△2,778,115
少数株主に係る四半期包括利益	△575,394	△544,969

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,181,511	△3,248,662
減価償却費	86,705	756,321
受取利息	△277	△803
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△31,586
支払利息	48,077	162,266
支払手数料	552,526	85,411
助成金収入	△36,190	—
株式交付費	—	7,266
子会社株式売却損益(△は益)	—	△7,473
売上債権の増減額(△は増加)	1,050,000	108,225
預り金の増減額(△は減少)	△154,068	—
その他	66,054	△532,442
小計	△568,683	△2,701,478
利息の受取額	325	736
利息の支払額	△47,578	△163,592
法人税等の支払額	△5,071	△19,707
その他	△59,055	△42,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	△680,063	△2,926,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,865,195	△2,981,014
無形固定資産の取得による支出	—	△8,190
敷金の差入による支出	—	△18,292
敷金の回収による収入	—	11,985
投資有価証券の売却による収入	—	167,817
子会社株式の売却による収入	—	7,500
その他	△9,854	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,875,049	△2,819,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	2,650,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,350,000
長期借入れによる収入	5,655,000	3,025,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△37,500
リース債務の返済による支出	—	△67,944
株式の発行による収入	995,872	650,333
少数株主からの払込みによる収入	296,400	494,000
その他	△352	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,746,919	5,363,691
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191,806	△382,480
現金及び現金同等物の期首残高	1,451,570	3,882,943

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,643,377	※ 3,500,463

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。